NIE特集
Newspaper In Education
毎月第2・4火曜日発行

国見小

学校名　仙台市立国見小学校　　校　長　中山　純一
所在地　仙台市青葉区国見2の16の1　　児　童　516人
電　話　022(234)6383

樹齢400年 藤の花の歴史を探れ!

棚いっぱい薄紫の花

知り隊

わたしたち国見小のまわりには、歴史のあるお寺や神社などがたくさんあります。それらを「国見のお宝」と呼んで、総合的な学習の時間に見学したり調べたりしています。その一つに「平子町の藤」があります。400年間、千田文彦さんの家が代々守り育ててきた藤の花で、わたしたちはその庭を訪れ、見せていただきました。

政宗公 朝鮮から持参

藤の花について、千田さんに取材する

藤がある平子町とは昔の町名で、今は平町と呼ばれています。平町は、国見小の学区です。

門を入ると、甘い花の香がして、藤棚に薄紫の藤の花がみごとに咲いていました。毎年5月に1週間だけ公開されますが、「花の咲き具合によって、公開期間は変わる」と千田さんは説明してくださいました。

千田さんの藤の花は、伊達政宗公が朝鮮出兵のとき持ち帰ったものです。政宗公持参の藤を、仙台藩の大工の棟梁だった千田家がゆずり受けたのです。文彦さんで14代目です。樹齢は400年。そんなに長い間花を咲かせ続けているなんて、本当におどろきました。

この藤は「ノダフジ」という品種です。特徴は花のふさが長いことで、今まで一番長くなったのは1㍍85㌢です。今年は昨年の夏の天候不順により80㌢ぐらいですが、庭いっぱいの藤棚に咲く花は、とても美しかったです。

こんなにきれいなのに、来年もまたきれいに花を咲かせるために、公開が終わった次の日には藤の花を切ってしまいます。藤の花を切る前に「ご苦労さんと、木にお酒をかけてあげるんだよ」と話してくれました。そうやって400年もの長い間、受けつがれてきたのだなあと思いました。

藤の花を育てていて大変なことは、花を毎年無事に咲かせることです。そのために、天候がとても気になるとのことでした。また、約300平方㍍もある藤棚を毎年組む苦労もあるそうです。

◇　◇

取材を終えて、千田さんのおかげで、わたしたちは毎年すばらしい藤の花を見ることができるのだなあと感じました。みなさんもぜひ、春になったら藤の花を見に来てください。

文・木村悠、原田佳苗、芦田悠里香、木村かえで、小林俊（6年）

言い隊

■電気の無駄なくそう■

家族でホテルに食事に出掛けた時のことです。そこで待っていると、だれも乗っていないエスカレーターが動いていることに気付きました。わたしは、（だれも乗っていないのに動いているなんてもったいないなあ）と思いました。

ドイツなど一部の国では、エスカレーターは、人が乗っていないと自然に止まり、人が来るとまた動きだすという仕組みになっているそうです。どの国もそのような仕組みにすると、無駄な電気が使われずに地球に優しいと思います。

わたしも、人のいない部屋の電気は消す、見ていないテレビは消すなどの、小さな無駄をなくそうと思いました。

（5年・佐久間美希）

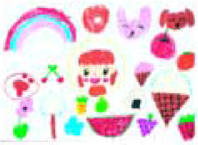
■美しい広瀬川守ろう■

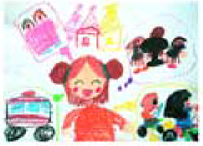
私は4年生の時、総合的な学習の時間に広瀬川に行っていろいろな活動をしてきました。広瀬川には、水生昆虫などいろいろな生き物がいっぱいかくれていました。でも、辺りを見ると、空き缶やごみがあちらこちらに落ちていました。それを見た私は、虫も魚もすめない川になってしまうのではないかと思いました。

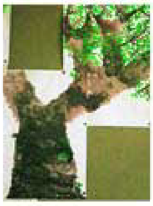
「広瀬川清掃プロジェクト」という活動を知りました。広瀬川の清掃や草刈りに取り組む活動で、私は川をきれいにするこのプロジェクトは、とてもいい活動だと思ったので、ぜひ参加してみたいと思いました。これからも美しい広瀬川を守っていかなければならないと思いました。

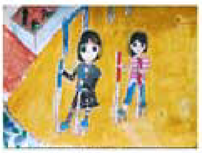
（6年・小野寺美鈴）

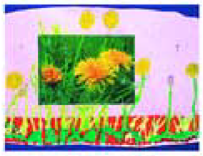
うきうきキャンバス


わたしのすきなもの
1年・佐藤綾音


みさちゃんがとまりにきたよ
2年・手塚由依


さくらの木
4年・佐藤紅里


友だちと竹馬楽しいな
3年・平井碧


タンポポ
5年・境祐輝

教え隊　小萩祭り

力合わせ行事楽しむ

昨年7月に行われた小萩祭り

わたしたち国見小には小萩祭りという児童会行事があり、毎年7月に行われます。それは3年生以上がお店を出し、全校児童がまわって楽しむという行事です。

お店の種類はお化け屋敷、宝さがし、ボウリングなどさまざまです。中でも1番人気はお化け屋敷です。お祭りには全員が仮装をして参加します。浴衣を着たりアニメのキャラクターやスポーツ選手のまねをしたりと、どんな仮装がでてくるか楽しみです。

学校でみんなで力を合わせて楽しむことができる行事があるって、すてきだと思いませんか。

文・千坂咲樹、金原千紘、古川めぐみ（6年）

編集後記

私たちが書いた記事が、新聞に取り上げられるなんて夢のようでした。どんな内容にするか、広報委員会で何度も話し合いました。国見小の近くに、仙台市の保存樹木に指定されている藤の花があります。ちょうど見ごろの時期でもあり、ぜひみんなで取材してみたいと思いました。

私たちにとって、このような体験はもうないと思うので、とてもいい体験になりました。また、あらためて地域のことを知ることができてよかったです。

〈編集委員〉木村悠、原田佳苗、芦田悠里香、木村かえで、小林俊、小野寺美鈴、千坂咲樹、金原千紘、古川めぐみ、チアラ・デザ・ラマダナ、東海林玲奈（6年）、佐久間実希、冨樫大我、小松瑞、富樫千花、佐々木萌華、吹越夏樹、大嶋あみ、平井杏佳、渡辺匠太、米永裕敏、荒川侑巳、山下翼（5年）
題字デザイン　チアラ・デザ・ラマダナ（6年）
〈指導教諭〉高野美恵、渡部敬子、青柳祐子

次回（8月10日）は、通町小（仙台市）と山下小（石巻市）です。